



JALまね

MINI DISCLOSURE 2024

島根県農業協同組合

中間期ディスクロージャー誌2024

はじめに

皆さまには、日頃より島根県農業協同組合（愛称 JAしまね）をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

さて、このたび当JAでは半期（9月末）ディスクロージャーについて開示いたしますので、皆さまの当JAに対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

当JAは、皆さまに信頼されお役に立てる島根県唯一の総合農業協同組合として、農業の振興並びに地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいる所存でございます。

今後とも、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年12月 島根県農業協同組合

PROFILE （令和6年9月30日現在）



- 設 立 年 月 日 平成27年3月1日
- 本 店 所 在 地 島根県松江市殿町19番地1
(代表：0852-67-7700)
- ホ ー ム ペ ー ジ <https://ja-shimane.jp/>
- 出 資 金 205億円
- 総 資 産 額 1兆1,250億円
- 単体自己資本比率 13.03%程度
- 組 合 員 数 209,271人
- 役 員 数 46人
- 職 員 数 2,849人

(注) 本誌は、農業協同組合法施行規則第207条に基づいて作成した中間期ディスクロージャー誌です。

CONTENTS

1. 経営理念	1
2. 令和6年度上半期決算の概要	2
3. 社会的責任と地域貢献活動	4
4. 単体自己資本比率	8
5. 不良債権の状況	8
6. 有価証券等時価情報	9
7. 財務諸表	10
8. 主な事業所の配置図	11

1. 経営理念

基本理念

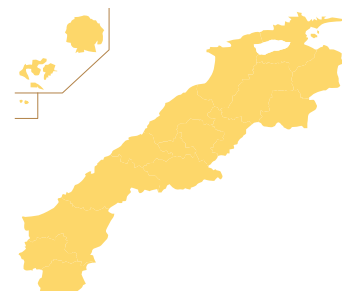
「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」

- 1. 地域の資源を生かし、希望と活力に満ちた農業を実現します
- 1. 地域の文化を守り、心豊かに安心して暮らせる地域社会を創造します
- 1. 水と緑と人を育み、豊かな大地と食を次世代に引き継ぎます

基本目標

「信頼、満足、熱意、みんな一番」

- し** …組合員・利用者からの信頼、一番をめざします
- ま** …組合員・利用者の満足、一番をめざします
- ね** …仕事への熱意、一番をめざします



2. 令和6年度上半期決算の概要

農業関連事業

購買事業

生産購買では、肥料が今年の春肥から大幅に値下がりしたため供給高は減少しましたが、農薬価格の値上げやカメムシ防除剤の需要増、施設資材供給の増加により供給高は若干増加し54億4百万円となりました。

農業機械事業については、昨年11月よりJAと全農の共同出資会社「JA全農島根農機サポート(株)」に事業委託をしています。

販売事業

米穀部門では、5年産米の販売単価が4年産米に比べ上昇しましたが、持ち越し在庫が少なかったことにより販売高は前年を下回りました。

野菜・果実部門では、主要品目であるぶどうは天候不順による生育不良もあり、販売高は前年を下回り、たまねぎは前年を大きく上回りました。

畜産部門では、子牛価格低迷対策として購買者誘致を取り組みましたが、回復までには至らず、販売高は前年を下回り、肉用牛等の取扱額は前年を上回りました。

酪農部門では規模拡大により乳量が増加しました。

販売事業全体では、販売高は前年を下回り194億29百万円となりました。

生活事業

生活購買品では、店舗購買事業で物価高による消費者の買い控え、競合店の新規出店・リニューアルで苦戦を強いられ、供給高が減少しました。自動車燃料事業も春先の暖房・加温需要の落ち込み、7月以降の石油製品単価安等で前年度を下回る実績となり、生活購買事業全体では供給高89億75百万円となりました。

信用事業

貯金残高は、他行との金利競争激化の影響等により減少し、9,940億49百万円となりました。

貸出金残高は、前年度と比較して住宅ローンをはじめとした個人貸出金が減少し、2,789億98百万円となりました。

また、有価証券残高は、1,563億59百万円となりました。

共済事業

保有高は、長期共済保有高が2兆6,980億62百万円、年金共済保有高220億10百万円となりました。長期共済保有高においては、建物更生共済の満期や生命系共済の払込終了による影響もあり、減少傾向が続いています。

損益の状況

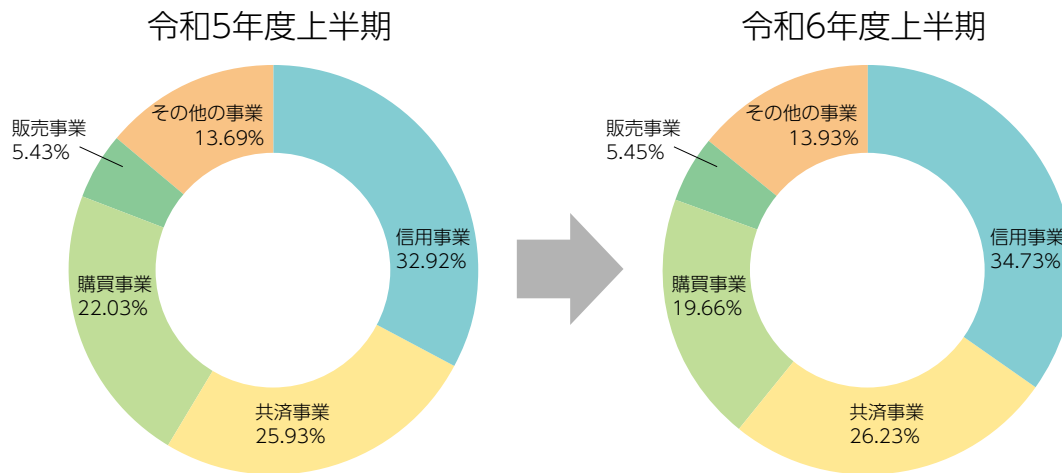
損益の状況は、事業総利益が113億52百万円、経常利益が3億95百万円となり、当期剰余金は2億47百万円となりました。

(単位：百万円)

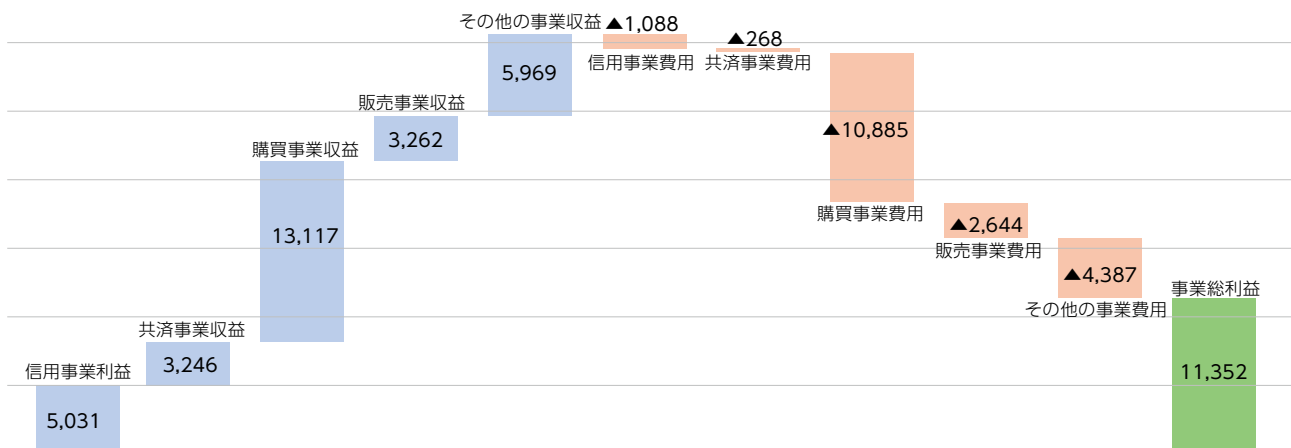
事業	項目	令和5年度上半期	令和6年度上半期	令和4年度	令和5年度
農業 関連	生産購買品供給高	6,315	5,404	14,106	12,923
	販売品販売・取扱高	19,503	19,429	38,042	39,021
生活	生活購買品供給高	9,077	8,975	18,912	18,815
信用	貯金（譲渡性貯金含む）	1,013,083	994,049	1,009,874	1,000,675
	貸出金	286,134	278,998	281,939	290,993
	有価証券	171,858	156,359	143,309	135,303
共済	長期共済保有高	2,821,212	2,698,062	2,905,921	2,772,492
	年金共済保有高	22,612	22,010	22,784	22,315
損益	事業総利益	11,769	11,352	23,820	23,568
	経常利益	1,257	395	1,605	2,054
	当期剰余金	950	247	822	1,372

(注) 販売品販売・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計額。

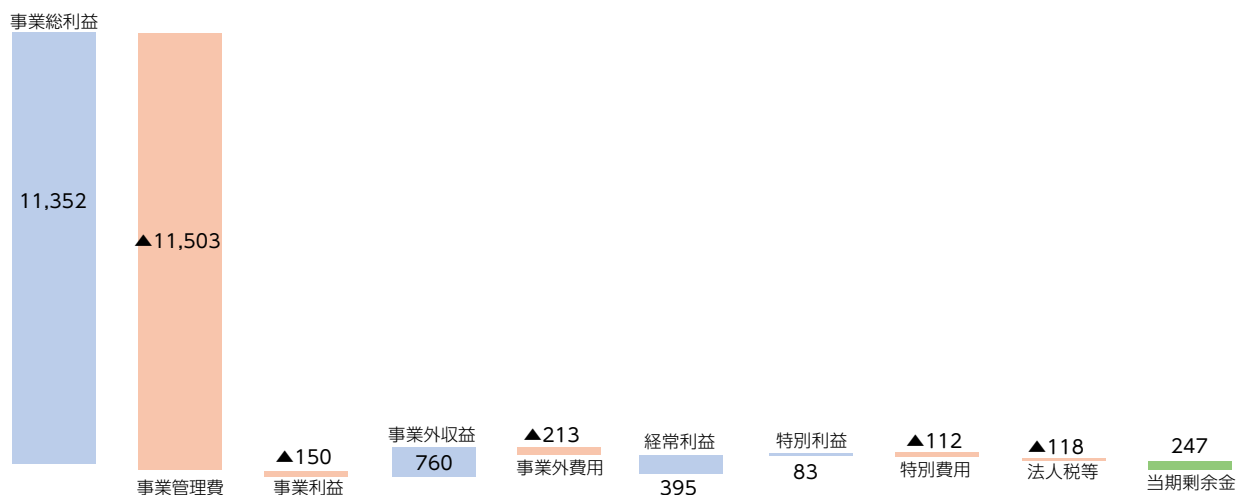
事業総利益に占める各事業の割合（上半期決算）



事業総利益の増減要因（令和6年度上半期決算）（単位：百万円）



当期剰余金の増減要因（令和6年度上半期決算）（単位：百万円）





3. 社会的責任と地域貢献活動

農業は、生産活動を通じて豊かな食生活の基礎を築くだけではなく、洪水や土壌浸食の防止、水資源のかん養など多面的な機能を通じて、みどり豊かな国土や環境の維持形成とその保全にも貢献しています。

当JAは、島根県を事業区域として、農業者を中心に地域住民の方々が組合員となり、相互扶助を共通の理念に運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する農業協同組合です。

当JAは農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、1県1JAとしての「協同の力」（人材・設備・資金）の結集と盤石な財務基盤を活かして、地域社会の一員として地域経済の継続的発展につとめています。

(1) 地域貢献の全般に関する事項

<地域密着型金融への取り組み>

①エネルギー価格・物価高騰等への対策事業

JAしまねでは、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受けている農業者の皆さまからの相談窓口を設置しております。

令和6年4月から島根県との連携により、「エネルギー価格・物価高騰等対策資金」の取扱いを開始し、農業者の支援に取り組んでいます。

新規実行は、令和6年9月末時点で17件、1億98百万円のご利用をいただいております。

また、島根県内生産者の所得向上とJAらしさの発信を目的とし、「しまね和牛肉」「島根県農産物」をプレゼントするJAしまね統合10年記念定期貯金キャンペーンを実施しました。



②「認定農業者支援資金」の取扱い

平成28年4月より、認定農業者様の農業経営に必要な設備資金や運転資金等幅広い資金需要に迅速かつ簡便にお応えできる「認定農業者支援資金」を取扱いしています。

令和6年9月末現在で1,169件、33億84百万円のご利用をいただいております。

引き続き、認定農業者様の円滑な事業運営と、農業生産向上への支援を行ってまいります。

③「JAバンク食農教育応援事業」の実施

食農教育を通じて子どもへの農業に対する理解を深め、農業のファン層の拡大から地域の発展に貢献することを目的として、県内小学校と養護学校等に食農・環境保全・金融経済教育にかかる教材本を8,091冊無償贈呈しました。

④子育て応援事業

JAしまねは、島根県が展開する「しまね子育て応援事業」に賛同し、協賛店として様々な商品において子育て世帯を応援しています。

住宅ローン・マイカーローン・教育ローンでは、「子育て応援宣言」として、子育て世帯の方に対する金利の優遇を行っています。

貯金商品でも18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乗せ定期積金をご用意しています。

⑤ライフプラン・コンサルティング（相談業務）の取り組み

組合員・地域の皆さまの「年金」「資産形成」「相続」にかかるご相談にお応えするため、「年金」は支店に、「資産形成」は統括支店に、「相続」は県域3拠点（松江市、出雲市、浜田市）に専門の担当者を配置しています。

令和6年4月より義務化された相続登記のお手伝いなど、様々なニーズへの個別相談及び相談会やセミナーの定期的開催により、おひとりおひとりのライフプランに適した情報の提供を行っています。

(2) 地域からの資金調達の状況

(単位：千円)

種 類		令和 6 年 3 月末	令和 6 年 9 月末
預 り 先	組 合 員	834,632,300	825,104,112
	うち同一世帯に属する者	160,247,003	159,003,023
	うち非営利法人	104,196,438	98,875,854
	うち地方公共団体	62,665,388	58,952,882
	組合員以外	166,042,354	168,945,365
	合計	1,000,674,655	994,049,478

(3) 地域への資金供給の状況

(単位：千円)

種 類		令和 6 年 3 月末	令和 6 年 9 月末
貸 出 金 貸 出 先	組 合 員	218,364,504	217,841,541
	うち同一世帯に属する者の 貯金担保貸付	128,708	126,842
	うち非営利法人（地方公共団 体を除く）の貯金担保貸付	72,640	67,525
	組合員以外	72,628,292	61,156,493
	地方公共団体	43,108,652	40,253,354
	地方公社等	847,619	558,156
	金融機関	11,668,000	2,891,000
	その他	17,004,020	17,453,983
	合計	290,992,797	278,998,035

(4) 文化的・社会的貢献に関する事項

<地域社会に貢献する活動>



①交通安全運動

交通安全意識の高揚と事故防止に役立てていただく為、夜光反射テープと反射タスキおよびカーブミラーを贈呈しました。また、スタントマンによる交通事故の実演を通して安全を考える自転車の交通安全教室を開催しています。

②子育て支援事業

島根県に在住の妊娠中の方を対象として、「JAしまねこども倶楽部」を展開し、共済事業を通じた子育て支援を継続的に取り組んでいます。

③スポーツを通じての健全育成

子どもたちのスポーツを通じての健やかな成長とふれあいと友情の輪を深めることを目的に、学童野球大会などを主催しています。

④伝統行事・地域イベントへの参加

例年、地域の祭り等の伝統行事や地域のイベントに参加・参画し地域との交流を促進しています。

⑤環境保全運動

「JAしまね・JAしまね女性部統一行動」の一つとして、県内全域で「おもてなしプロジェクト」に取り組み、みどりのカーテンや支店、支店周辺の美化活動による環境保全に取り組んでいます。

⑥地域貢献・地域活性化支援

地域貢献・地域活性化に取り組むグループや団体の活動を支援する事業に取り組んでいます。



<くらしの活動関係>



①食農教育

親子クッキングスクール、あぐりキッズスクール、学童農園、出前授業等の活動を通じて「食農教育」を行なっています。年間を通じたカリキュラムを立て、体験を通して食や農の大切さを伝えています。

②生きがいづくり講座

輝く女性であるための自分磨きや、学びの場を通じての仲間づくりを目的として、女性を対象に学びの場を開講しています。カリキュラムは文化教養や農業体験、料理教室等幅広い内容となっています。

③健康増進

J A島根厚生連と連携し、健康診断や各種健診を通じて、組合員の健康管理に努めています。また、介護予防教室、助けあい組織によるミニデイサービス等を開催し、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



4. 単体自己資本比率

令和6年3月末	令和6年9月末（推計値）
13.44%	13.03%程度

（注）令和6年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

1. 令和6年9月末の単体自己資本比率（推計値）は、令和6年3月末のオペレーショナルリスク相当額及び令和6年9月末の自己資本額・信用リスクアセット額（推計値）に基づき算出しています。
2. 令和6年9月末の信用リスクアセット額（推計値）の算出にあたって、一部の項目については令和6年3月末の額（データ）を使用しています。

5. 不良債権の状況

（単位：千円）

債権区分	令和6年3月末	令和6年9月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	490,506	473,171	△ 17,335
危険債権	1,950,088	1,881,170	△ 68,918
要管理債権	—	—	—
小 計	2,440,595	2,354,342	△ 86,253
正常債権	289,824,833	279,582,118	△ 10,242,715
合 計	292,265,429	281,936,460	△ 10,328,968

※令和6年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

1. 各債権区分額は、令和6年3月末時点の債権額を基準として、令和6年9月末時点の残高に修正しています。

6. 有価証券等時価情報

有価証券

(単位：千円)

保有区分	令和6年3月末			令和6年9月末		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	7,600,000	7,524,015	△ 75,985	7,600,000	7,518,395	△ 81,605
その他	120,890,456	127,702,569	6,812,112	143,394,730	148,759,401	5,364,671
合 計	128,490,456	135,226,584	6,736,127	150,994,730	156,277,796	5,283,066

(注) 1. 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2. 帳簿価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他目的有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しています。

金銭の信託

(単位：千円)

区 分	令和6年3月末			令和6年9月末		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
運用目的	495,051	495,051	—	—	—	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	1,889,232	1,973,898	84,665	1,780,854	1,793,518	12,663
合 計	2,384,284	2,468,950	84,665	1,780,854	1,793,518	12,663

(注) 1. 9月末の金銭の信託の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2. 帳簿価額については、運用目的金銭の信託については取得価額を、満期保有目的金銭の信託またはその他目的金銭の信託については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

7. 財務諸表

①貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

科 目	令和5年度 (令和6年3月31日現在)	令和6年度上半期 (令和6年9月30日現在)
(資産の部)		
1 信用事業資産	993,068,528	995,895,796
2 共済事業資産	5,409	7,719
3 経済事業資産	14,314,618	14,900,164
4 雑 資 産	5,405,391	5,133,147
5 固 定 資 産	33,074,901	33,192,839
6 外 部 出 資	68,076,220	75,441,820
7 繰延税金資産	101,879	522,157
資産の部合計	1,114,046,950	1,125,093,646

科 目	令和5年度 (令和6年3月31日現在)	令和6年度上半期 (令和6年9月30日現在)
(負債の部)		
1 信用事業負債	1,015,130,756	1,027,833,076
2 共済事業負債	4,388,610	5,400,075
3 経済事業負債	6,038,547	4,989,992
4 雑 負 債	3,160,052	2,768,832
5 諸 引 当 金	6,514,336	6,422,096
負債の部合計	1,035,232,302	1,047,414,074
(純資産の部)		
1 組 合 員 資 本	73,825,517	73,789,608
2 評価・換算差額等	4,989,129	3,889,963
純資産の部合計	78,814,647	77,679,572
負債及び純資産 の部合計	1,114,046,950	1,125,093,646

②損益計算書 (要約)

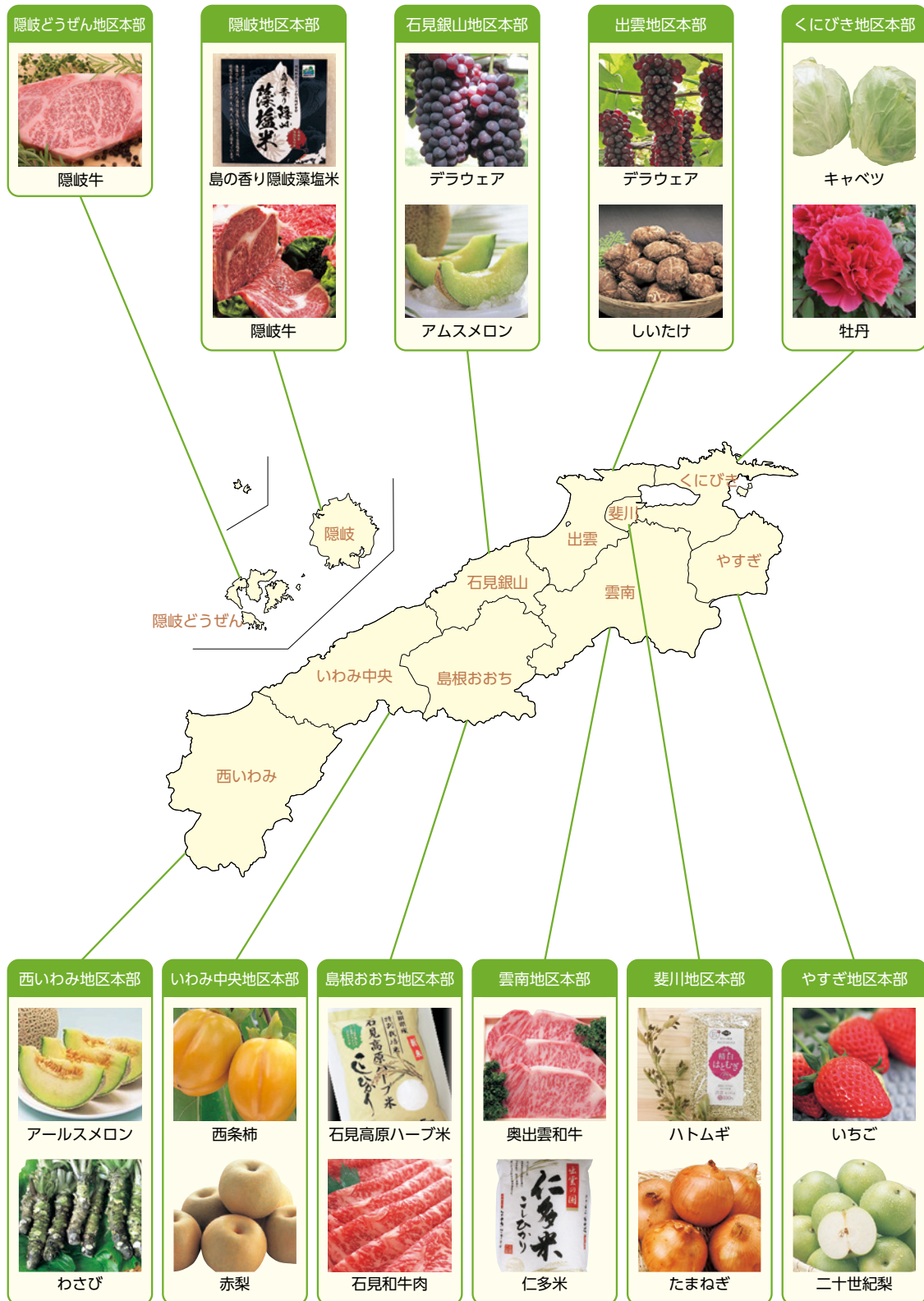
(単位：千円)

科 目	令和5年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)	令和6年度上半期 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)
1 事業総利益	23,568,112	11,352,426
(1) 信用事業収益	9,283,330	5,031,837
(2) 信用事業費用	1,387,045	1,088,611
信用事業総利益	7,896,285	3,943,226
(3) 共済事業収益	6,466,630	3,246,118
(4) 共済事業費用	593,066	268,884
共済事業総利益	5,873,564	2,977,234
(5) 購買事業収益	30,222,559	13,117,577
(6) 購買事業費用	24,838,058	10,885,462
購買事業総利益	5,384,501	2,232,114
(7) 販売事業収益	5,990,900	3,262,920
(8) 販売事業費用	4,696,442	2,644,558
販売事業総利益	1,294,458	618,362
保管事業総利益	174,590	25,475
加工事業総利益	413,013	156,667
利用事業総利益	988,596	645,364
葬祭事業総利益	1,369,777	642,259
宅地等供給事業総利益	24,883	12,694
農業経営事業総利益	27,683	△ 37,738
その他事業総利益	247,373	135,037
指導事業収支差額	△ 126,616	1,727

科 目	令和5年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)	令和6年度上半期 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)
2 事業管理費	22,854,739	11,503,049
事業利益	713,373	△ 150,623
3 事業外収益	1,800,926	760,231
4 事業外費用	459,930	213,714
経常利益	2,054,368	395,893
5 特別利益	395,812	83,164
6 特別損失	736,293	112,846
税引前当期利益	1,713,887	366,211
7 法人税、住民税 及び事業税	289,282	118,461
8 法人税等 調整額	52,562	-
法人税等合計	341,845	118,461
当期剰余金	1,372,042	247,749
当期首繰越剰余金	569,512	603,113
経営基盤強化 積立金取崩額	288,670	-
税効果積立金 取崩額	52,607	-
当期末処分剰余金	2,282,832	850,863

8. 主な事業所の配置図

〈県全体〉 地区本部の事業エリア及び主な特産品



〈東部〉事業所配置図（令和6年11月30日現在）

-  本部・地区本部
-  支店・出張所・店
-  営農・経済センター
-  生活店舗（業務委託店舗を含む）・グリーンセンター・農産物直売所・ファミリーマート
-  給油所（業務委託店舗を含む）
-  葬祭施設（業務委託店舗を含む）





MINI DISCLOSURE 2024





MINI DISCLOSURE 2024



〈西部・隠岐〉事業所配置図（令和6年11月30日現在）

-  本部・地区本部
-  支店・出張所・店
-  営農・経済センター
-  生活店舗（業務委託店舗を含む）・グリーンセンター・
農産物直売所・ファミリーマート
-  給油所（業務委託店舗を含む）
-  葬祭施設（業務委託店舗を含む）



SDGs目標達成に向けた取り組み

- ・JAしまねが掲げる「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」という基本理念は、SDGsが掲げる基本理念である「誰一人取り残さない」と共通するものです。
- ・JAしまねでは、組合員と地域のくらしを守ることを目的に、自己改革を通じてSDGsの目標達成に貢献しており、JAしまねの行う各事業はSDGsの目標と親和性が高く、引き続き農業協同組合として各事業を展開し、SDGsの目標達成に向けて取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

「持続可能な開発目標 (SDGs)」とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

〔外務省ホームページより〕



持続可能な食料の生産と 農業の振興



JAしまねでは、持続可能な農業を実現するため、様々な担い手に対して積極的な支援、活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指しています。

- 新規就農者を含む地域の担い手の育成
- 農業振興支援事業の実施
- スマート農業の推進
- 島根県農畜産物の安全安心の取り組み

© よい食P



農業生産における 環境負荷の軽減の取り組み



JAしまねでは、自然の恩恵を地域に根ざすエネルギーとして、安全なクリーンなエネルギーの活用・確保に向けた取り組みを行っています。

- 小水力発電
- 太陽光発電等
- 有機農業



持続可能な フードシステムの構築



JAしまねでは、地域で生産された新鮮な農畜産物が、地域内で直接販売され、最後まで安全に消費されています。また、6次産業化により生産振興や生産者手取り増大につながるよう、地場産品による特産品開発・商品開発も進めています。

- 地産地消活動
- 直売所・ファーマーズマーケット
- 加工事業
- 販売促進活動



安心して暮らせる持続可能で 豊かな地域社会づくり



JAしまねでは、豊かなくらしやすい地域づくりのための、ふれあい活動として「くらしの活動」に取り組み、活動を通じ、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指しています。

- 食と農に関する活動
- 地域貢献活動
- 支店ふれあい活動



地域社会への貢献



JAバンク、JA共済は組合員・利用者に安心と満足を提供するため、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

- 地域社会への安定的な金融サービスの展開
- 共済仕組みによる保障提供サービスの展開



© よい食P

多様な関係者・仲間との 連携・参画



- JAしまね支店ふれあい活動・JA女性部統一行動「おもてなしプロジェクト」の実践
- JAしまね、JAしまね女性部、島根県農協青年組織協議会が協力し、フードバンク、こども食堂への支援
- 地域の方や子供たちに向けての農業体験、食農教育活動





島根県農業協同組合

〒690-0887 松江市殿町19-1 (島根JAビル)